

2011～2012年度
国際ローターテーマ



『ここの中を見つめよう
博愛を広げるために』

KAWASAKI TAKATSU R.C.

第2590地区第3グループ 川崎高津ロータリークラブ

2011～2012

事務局：〒213-0041川崎市高津区溝口2-14-1むらたビル3F
 例会場：ホテルKSP TEL 044-819-2211
 例会日：毎週木曜日 12:30 / 毎月第4週 18:00
 会長：田中 薫
 幹事：鈴木 良一



R.I.会長
Kalyan
Banerjee

クラブ年度テーマ
『ローターの原点にたちかえり、思いやりの気持ちを持とう』

点鐘・開会宣言・歌唱

田中 薫会長 「四つのテスト」

お客様

宝 音図(ボヤト)様 米山記念奨学生 卓話者

報告

会長報告

- * 神奈川県赤十字血液センター 稲葉領一 所長より4月21日の献血活動に対するの礼状が届いております。
- * 第11回日韓親善会議開催の案内が届いております。
日時：8月31日(金)～9月1日(土) 登録料：22,000円
場所：グランド・プリンスホテル新高輪「飛天の間」
登録ご希望の方は事務局までお知らせ下さい。
- * 第2590地区ローターアクト2011-12年度年次大会、2012-13年度地区協議会開催の案内が届いております。
日時：6月9日(土)12:30～ 場所：鶴見公会堂ホール
登録料：本大会 ¥1,500 懇親会 ¥3,000
登録ご希望の方は事務局までお知らせ下さい
- * 米山奨学生「米山梅吉記念館訪問」の案内が届いております。日時：6月3日(日)8:00 杉原キョウジさん集合
行程：米山梅吉記念館 見学・墓参・研修・昼食
箱根大涌谷散策(全てバスでの移動)
- * 新旧ガバナ補佐、事務局連絡会開催の案内が届いております。日時：6月1日(金)18:00～
場所：鎌倉別邸ソフィア 会費：5,000円
- 幹事報告
- * 奉仕五団体打合せの案内が届いております。
日時：5月31日(木)19:00～高津青年会議 例会場
議題：区民祭への奉仕五団体としての取組み他
他クラブより例会変更のお知らせが届いております。
- * 新川崎RC:5月30日(水)休会 6月6日(水)17:30
あつぎ飯山温泉「元湯旅館」 6月27日(水)休会
- * 川崎マリノアRC:6月14日(木)15日(金) 仙台国際ホテル
他クラブより会報が惠送されております。お目直し下さい。川崎RC 川崎中RC 川崎とどろきRC
諸事お知らせ
- * 次週5月31日(木)は本藤光隆会員による卓話です。
委員会報告
- * 第2590地区国際奉仕委員会 中田俊彦委員
皆様からの募金が総額214万円になり、71%が全減と
言う事で既に100万程、送金済みです。奨学生を通じて

第41回 例会記録

通算：第1283号
 例会日：平成24年 5月24日
 発行日：平成24年 5月31日
 今週のプログラム：「卓話 米山奨学生 宝音図様」
 次回のプログラム：「卓話 本藤光隆会員」
 コミュニケーションメッセージ(順不同、敬称略)
 田中 薫 宝さん、卓話をよろしくお願ひします。
 三家 護 5/27甥子の結婚披露宴に出席する予定です。
 久しぶりのお祝ひごとうです。

	件	合計	累計	目標額	達成率
ローター財団	12	15,000	400,000	336,000	119.05%
米山奨学会	13	15,000	415,000	560,000	74.11%
ニコニコBOX	14	18,000	652,000	1,000,000	65.20%
フルドリBOX	13	16,000	481,000	500,000	96.20%

	会員数	出席義務者	欠席数	出席率	MU	前々回修正
本日	27	25	4	84.00%		
前々回	27	25	5	5月10日分	0	80.00%

クラブ会報委員会

本藤光隆委員長 相馬 元副委員長
 三富末雄委員 森山圭介委員 編集担当：相馬 元

現地で何が 필요한のか調べてもらい、本棚と本を購入しました。来週月曜日に津田委員長ご夫妻と委員が直接お金を持って行きます。

- * 次年度幹事 細谷和彦次年度幹事
期首資料の締切が明日までなので、お願いします。
- * 第2590地区財団セミナー 細谷和彦次年度幹事
未来の夢計画という名に変更になります。
その中で2つの補助金制度、グローバル補助金と新地区補助金に分かれました。グローバル補助金は6つの事項です。
<平和と紛争予防・紛争解決> <疾病予防と治療>
<水と衛生> <母子の健康> <基本的教育と識字率向上> <経済と地域社会の発展>です。
- * グローブ同好会 杉崎晴男会長
今年度3回目を6月19日火曜日みょうりかトリクラブで実施します。揮ってご参加ください。



祝慶事

* 入会記念

茅根正之会員 S60.5.16 木島士郎会員 S60.5.16
 福嶋 徹会員 S60.5.16 古屋光克会員 S60.5.16
 持田裕弘会員 S60.5.16 中田俊彦会員 S62.5.28
 細谷和彦会員 H1.5.11 飯尾光正会員 H5.5.27
 中村資敬会員 H9.5.29 三富末雄会員 H12.5.18
 * 米山功労者第3回表彰 田中薫会長(感謝状)

5月24日の♪♪

「日本とモンゴル」 米山記念奨学生 宝音 図 様

故郷のジム・アマグ（通遼市）

通遼市(つうりょうし)は中華人民共和国内モンゴル自治区に位置する地級市。旧ジム(哲里木)盟の中心で松遼平原の西の緑、札雅(科爾沁)草原と「黄金帯」西遼河冲積平原にある地級市の一つ。漢族を主として蒙古族、回族、満族、朝鮮族などの少数民族を有する。総人口は311万人(2004年)であり、総面積は5.9万平方キロである。

札雅左翼後旗(- さよくこうき)は中華人民共和国内モンゴル自治区通遼市に位置する旗。旗人民政府の駐地は甘旗卡(ガンジカ)鎮。総人口は40万人、そのうちモンゴル人が29万人である。

留学した目的：私の故郷は内モンゴル東部地域のジム・アマグ(ジム盟ともいう)である。それが満洲国時代に興安省の管轄であった。村には日本語を話せる年寄りの人が数多くいた。それに家庭用食器である醤油入れに日本語で「醤油」という文字があり、故郷の方言にも「洋桶(樽)、洋瓶、洋油(灯油)、ホウドリ(包丁)」などの外来語が使われていた。

学生時代に言語学を勉強して、のちに日本語であった事が分かった。そして幼い頃から日本という国に大変興味を持つようになり、日本とモンゴルの文化は深く関係があるのではないかと考えていた。

夏休みや冬休みに実家に戻り、年寄りの人々と話をし、50年前に私の村から七人が旗における「国民学校(日本人により建てられた小中学校)」で学習していた事が分かった。特に母から、私の祖父が公所(満洲国時代の行政公署)で雇員(公務員)として勤めていた事を知った。

そして大学時代にマスコミ雑誌で日本の経済や科学技術などの内容が報道されるようになった。卒業後、この幼い頃からの「深い関係」を探るために日本語を勉強して来日した。

そして2001年の春に日本の古都である奈良市の日本語学校に入学して日本語を勉強した。その時、ある日本人のお爺さんから、彼が青年時代に内モンゴルで中学校の先生であったという事を聞いた。そこで自分の祖父とのお爺さんたちの時代の人々について研究し、なおかつその「深い関係」の経緯を明らかにするために頑張っている。

将来、出来れば日本の大学の教員、或いは内モンゴルの大学の教員になり、そのお爺さんたちの「深い関係」を若者たちに伝えようと没頭しているところである。

